

**純資産変動計算書**  
(H29.4.1~H30.3.31)

貸借対照表の「純資産の部」の内容が一年間でどのように変化したかを表します。

<b>期首純資産残高 (平成28年度末)</b>		<b>1,069億1,951万円</b>
増減の詳細	純行政コスト	△157億9,950万円
	一般財源 (税収入など)・補助金など	155億9,799万円
	無償所管換等 (寄附された資産など)	1億2,945万円
<b>期末純資産残高 (平成29年度末)</b>		<b>1,068億4,745万円</b>

長久手市の純資産はこの1年間で約7,200万円減っているね。

業務活動収支の黒字分と比べて投資活動収支の赤字分が大きいね。長久手市では近年、公共施設整備などの投資が盛んに行われているんだ。

**資金収支計算書**  
(H29.4.1~H30.3.31)

どのような要因で資金が増減したかを把握できます。

<b>A 期首歳計現金残高 (平成28年度末)</b>		<b>8億7,523万円</b>
<b>B 当年度歳計現金増減額</b>		<b>△3億7,227万円</b>
内訳	業務活動収支▶収入:市税、使用料及び手数料など 支出:人件費、物件費など	11億6,315万円
	投資活動収支▶収入:補助金、基金など 支出:公共施設等整備費など	△15億7,940万円
	財務活動収支▶収入:地方債発行収入など 支出:地方債償還額など	4,397万円
<b>C 期末歳計現金残高 (平成29年度末) (A+B)</b>		<b>5億295万円</b>

**公金の管理・運用状況**

一般会計および特別会計

(平成31年3月31日現在) 単位:円

区 分	運用方法		金 額
	預貯金	普通預貯金	
歳計現金 <sup>(※1)</sup> および歳入歳出外現金 <sup>(※2)</sup>	預貯金	普通預貯金	1,786,007,249
	現 金		424,500
	計		1,786,431,749
基金 (財政調整基金ほか9件) <sup>(※3)</sup>	預貯金	定期預貯金	3,000,000,000
		普通預貯金	2,002,049,576
	債券	地方債(10年)	200,000,000
	計		5,202,049,576
合 計			6,988,481,325

**HPを見る** (記事ID 3510)

問 会計課 ☎56-0629

市民の財産である公金の管理・運用状況をお知らせします。

- ※1 各会計に属する資金
- ※2 一時的に保管している資金
- ※3 特定の目的のために積立している資金
- ※4 特定の目的のために積立している資金
- ※5 商工事業者向けの融資担保分として、金融機関に預けている資金

下水道事業会計

(平成31年3月31日現在) 単位:円

区 分	運用方法		金 額
	預貯金	普通預貯金	
歳計現金 <sup>(※1)</sup>	預貯金	普通預貯金	388,610,478
	現 金		15,000
	計		388,625,478
基金(下水道事業基金) <sup>(※4)</sup>	預貯金	普通預貯金	394,046,823
	計		394,046,823
合 計			782,672,301

(預託期間:平成30年4月9日から平成31年3月27日) 単位:円

区 分	運用方法		金 額
融資制度に係る預託資金 <sup>(※5)</sup>	預貯金	決算用預金	50,000,000
	計		50,000,000

